

町 連 だ よ り

令和2年2月12日 苫小牧市町内会連合会 発行

令和元年度 視察研修事業（釧路市）

10月3日(木)～4日(金)の日程で、令和元年度視察研修事業を実施しました。1日目、釧路市を訪問しました。訪問先の釧路市連合町内会は、『すみよい地域社会をつくり、地域住民の福祉を増進する』ことを目的にして、諸活動を行っており、連合会役員を始め、各町内会長が先頭に立ち、連合会の様々な事業を企画・運営しています。また釧路市は、北海道の東部太平洋岸に位置し、「釧路湿原」「阿寒摩周」の二つの国立公園をはじめとする雄大な自然に恵まれた町です。まちの歴史は異なるものの、太平洋に面し、樽前山やウトナイ湖などの自然を有するなど、本市の環境や規模などが近いことから、防災、福祉分野等で、本市の町内会活動と共通する課題や、事例などについて、学ぶ良い機会となりました。

研修会の冒頭、本会谷岡会長が、研修先としてお引き受け頂いたことに対し、謝辞を述べ、また釧路市連合町内会黒木会長から、歓迎のご挨拶を頂きました。開会後は、お互いの組織運営や、単位町内会の活動、課題について、活発な意見交換が交わされ、大変有意義な研修交流会となり、あわせて両市連合組織相互の交流を深めました。

2日目は、あいにくの雨でしたが、釧路市丹頂鶴自然公園や、とちち農機具歴史館を見学し釧路市の自然や、十勝の酪農の歴史に触れました。



(釧路市連合町内会との研修交流会)



(釧路市湿原展望台)



(釧路市丹頂鶴自然公園)



(とちち農機具歴史館)

令和元年度 ブロック別町内会活動研究大会（北斗市） ～北海道町内会連合会事業～



北海道町内会連合会事業である「令和元年度ブロック別町内会活動研究大会」へ、単位町内会及び、町連婦人部会の役員 20 名が参加しました。

近畿大学総合社会部准教授 松本行真氏による『地域の安心・安全をめざして～復興とコミュニティ～』をテーマにした講演が行われました。

講演は、【地域をリード、コーディネートするための技術に関する知識を得る】という目的で、東日本大震災の被災地の 1 つである、福島県いわき市薄磯区の、復興への取組を例に、行政と区会、自治会、外部者(研究者等)の関わり合い方についての報告や、インドネシア・バリ島のアグン山噴火の際の住民の避難の状況について、説明を交えながら、日頃から近所や地域の関係が形成されているかが重要である、という内容でした。

講演会終了後は、**福祉、防災、町内会の育成**の 3 つの分科会に分かれ、それぞれのテーマに沿い、事例発表・意見交換が行われ、本市の各単位町内会での活動について、それぞれの分科会で、参加者が積極的に発表する場面が、多く見られました。



視察研修交流会を開催【江別市自治会連絡協議会】

10月17日(木)、江別市自治会連絡協議会の役員の方々14名が来苦し、本会役員23名と市民活動センターにて、視察研修交流会を開催いたしました。

江別市自治会連絡協議会の武田会長、本会谷岡会長の挨拶で始まり、お互いのまちづくりや人口構造、連合会また単位町内会のすがたについて説明の後、町内会(自治会)活動の活性化、担い手問題、防災対策、また介護保険法改正と地域連携について、お互いに意見交換をしました。

両市ともに参加された方々からは、「大変活発な意見交換となり、有意義な交流会となった。」との感想を、いただきました。



『住民組織活動の推進に関する要望書』の提出

及び市長との懇談会

11月28日（木）市役所第二応接室にて、市長と町連役員との懇談会が行われ、町連からは理事、監事14名が、市側からは市長ほか関係部長が出席しました。

この懇談会の席上で、来年度に向けた要望として、「住民組織活動の推進に関する要望書」を提出しました。その後、要望事項の内容や、地域の課題等について、約1時間市長、関係部長と懇談を行いました。

なお、この要望事項は、今年度市民生活課主催で7月に開催しました、地域ブロック別意見交換会で、各町内会からいただきましたご意見やご要望を基に、町連理事会で協議し、作成しています。

要望書の内容と回答（全文）は、次のとおり。



要 望 事 項	回 答
<p>1 「苫小牧市環境美化活動事業助成金」の申請等の簡略化について</p> <p>市には、住民組織活動助成金、高齢者支援事業助成金、地域青少年対策推進補助金に係る申請手続の一元化により、申請事務の軽減化を図っていただきました。</p> <p>しかし、ごみステーションの管理など地域における環境美化活動の推進を目的とする「苫小牧市環境美化活動事業助成金」については、依然として、個別に申請手続きを行っています。</p> <p>本助成金の積算根拠は、既に一元化されている助成金等と同様であることから、本助成金の趣旨や目的の再検討を含め、三種類の助成金申請に含めていただくよう要望します。</p>	<p>苫小牧市では、平成25年度から家庭ごみの有料化を開始しましたが、当初はごみの不適切排出が懸念されたため、その対策として「ステーションパトロール隊」を設立し、皆様に多大なる御協力を頂きました。</p> <p>ステーションパトロール隊では、ごみステーションの数に応じて助成金を交付しておりましたが、お陰様で、市民にごみ有料化ルールが浸透し、平成27年度から「苫小牧市環境美化活動事業」として、新たに助成金制度を創設し現在に至っております。</p> <p>本制度は、これまでステーションパトロール隊の皆様に支えられてきた経緯がある為、引き続きごみの減量やリサイクルの推進、町の環境美化を目的として事業を継続してまいりました。</p> <p>一方、これまでも市議会等において、申請手続きの簡略化や活動内容の確認方法など、助成金制度の在り方について様々な意見を頂いており、御要望のありました申請の一元化も含め、より良い制度となるよう早急に検討を進めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">（環境衛生部ゼロごみ推進課 担当）</p>
<p>2 事業所・企業に向けた町内会活動への理解と協力要請について</p> <p>北海道町内会連合会の調査による全道における単位町内会の世帯加入率については、平成16年は75.2%、21年は71.5%、26年は68%と低下傾向にあることから、多くの自治体では、加入率の回復に向け様々な取組を行っています。</p> <p>本会が、本年10月に視察訪問しました釧路市連合町内会では、加入促進活動の一つとして、各事業所・企業に『町内会活動を応援します宣言』をしていただき、成果を上げていました。</p> <p>本市では、これまでも単位町内会ごとに各</p>	<p>町内会活動の理解促進を図る上で、事業所・企業等に対する協力要請は必要と考えており、行政としても様々な場面での取組を進めているところでございます。</p> <p>しかし、町内会連合会及び単位町内会との連携、情報共有などの取組に関しましては、十分とは言えない部分があったものと認識しています。</p> <p>御要望の主旨である町内会連合会、単位町内会、行政が更なる連携を図ることで、町内会活動に対する理解がより一層深まることが期待されることから、釧路市をはじめ他の自治体、団体などの事例を参考に、今後の取組について具体的に協議をさせて</p>

地域内の事業・企業に対し、町内会活動への理解と協力を要請しており、また、市におきましても、様々な場面で事業所・企業に協力を要請していただいておりますが、さらなる町内活動に推進に向けて、次の事項について要望します。

(1) 単位町内会及び本会との共同による協力要請活動の支援

(2) 苫小牧商工会議所、北海道中小企業同友会苫小牧支部、北海道宅地建物取引業苫小牧支部等に対する、会員事業所の理解と協力の要請

(3) 事業の実施における協力要請及び単位町内会への情報提供。

3 公共施設の整備と町内会活動の拠点施設の在り方について

本要望に関しましては、これまでも要望してまいりましたが、町内会館や公共施設の価値観が向上し、新しい時代の町内会活動や町内会館の在り方を目指す取組の一つとして改めて要望させていただきます。

公共施設の老朽化による新設や大規模改修等に際し、人口構成の変化や利活用の多様化などに留意するとともに、町内会活動の拠点施設としての活用の観点から、次のとおり要望します。

(1) 公共施設の整備・改築計画・検討状況の概要や考え方について、ブロック別意見交換会における説明や意見交換の実施

(2) 今後における各種公共施設の整備計画において、地域コミュニティ（地域活動）が主役となる「新たな公共施設」の在り方等の検討

4 町内会の運営や活動について、課題解決に向けた継続的な検討会等の設置について

これまで、行政内部に設置される各種「審議会」をはじめ、「協議会」、「実行委員会」には町内会役員が委員として参画しています。

しかし、私たちにとって一番大切な町内会運営や活動に関して、市と町内会が一つのテーブルについて、継続的に研究、協議、検討する場面がありませんでした。

これまでの要望事項なども含め、新しい時代の町内会活動の在り方など、課題解決に向け、有識者など第三者を交えた、継続的な検討会等の設置について要望します。

いただきたいと考えております。

(市民生活部市民生活課 担当)

『新たな公共施設』を拠点とした、新しい時代の町内会活動の展開につきましては、現状の町内会活動における課題解決を図る上で、一定の効果が見込まれるものと理解をすることでございます。

本市におきましては「苫小牧市公共施設適正配置計画」、「苫小牧市公共施設等総合管理計画」において、今後の公共施設の在り方について整理をし、各部署において所管する施設の建て替え、改修等について整備を進めている段階でございます。

現在のこうした取組について、ブロック別意見交換会の中で御説明しながら、地域コミュニティの拠点となる今後の公共施設の在り方についても、意見交換を行ってまいりたいと考えております。

(市民生活部市民生活課 担当)

本市では、平成27、28年度の2年間にわたり、町内会活動の推進を目的として、町内会連合会会長、有識者、一般市民、行政による市民自治推進会議を設置し、継続的な研究、協議を行ってまいりました。

また、市民生活部では全町内会を対象に、平成30年度からブロック別町内会意見交換会を開催し、町内会運営の課題について意見交換を行う場を設けております。

今後におきましてもブロック別町内会意見交換会を継続し、個々の町内会が抱える課題や地域特性を踏まえ、課題解決に取り組んでまいります。

なお、町内会の課題解決を目的とする、有識者等を交えた常設の会議設置は現段階で考えておりませんが、随時開催の研究会等については検討してまいります。

(市民生活部市民生活課 担当)

令和元年度 研修会 【地域防災フォーラム】

『北海道胆振東部地震！その時!!あなたは?!』

～あの日を忘れない～

11月12日(木) 苫小牧市民会館小ホールにおいて、胆振管内及び市内町内会関係者、一般参加者、行政関係者など201名が参加し、『地域防災フォーラム』を開催しました。

本事業は、胆振管内町内会連絡協議会が主催、本会及び、苫小牧市自主防災組織連合会が共催し、管内における町内会(自治会)の広域的な連携交流や、地域活動の推進に向けた特別研修として、開催しました。

そして、「今後の災害への備え」「人とひと」、「地域の絆」を見直す機会と位置付け、昨年9月6日未明に発生した「北海道胆振東部地震」に関連し、私たちの身近で発生した大地震を通して、冷静に振り返るとともに、視点を変え改めて見えてきたものについて、考える機会としました。

第1部【基調講演】では、地域防災特別講演会として、講師にHBC北海道放送報道制作センター報道部災害担当デスクの加藤健司氏に、『報道の目から見た住民！行政！地域！の姿』と題し、普段は余り目にしない災害時における報道現場の生の声、行動についてご講演頂き、第2部【パネルディスカッション】では、厚真町・むかわ町・早来町の各分野の方々にご参加頂き、実体験についてお話いただきました。またロビーでは、災害への備えの参考になるよう、防災資機材の展示も行い、参加者の方々は大変興味深そうに展示物に見入ったり、手に取ったりしていました。



令和2年 新年交礼会並びに表彰式（町連）



1月15日（水）グランドホテルニュー王子グランドホールにて、『令和2年新年交礼会並びに表彰式』が、361名と大変多くの出席を頂き、盛大に開催されました。



新年会に先立ち、令和元年度町内会活動永年功績者表彰式が執り行われました。今年度は188名の皆様が受賞され、また、永年に

渡り単位町内会役員、また町連役員として、地域そして会の発展にご尽力いただきました、故松原顧問、故戸部理事に、町連会長より感謝状を、贈らせていただきました。

また、今年度より30年以上の永きに渡り、町内会役員として、地域活動にご活躍いただきました方々へ、『市長感謝状』が贈られることとなり、町連会長表彰と併せて、36名と大変多くの皆様に贈呈されました。

表彰式終了後は、谷岡会長が改めて新年の挨拶、ご来賓のご祝辞・ご祝杯の後、華やかに新年交礼会を開催しました。大変和やかな雰囲気の中、苫小牧市内の各地域から参加された皆様が、お互いに交流を深め、カラオケを歌うなど、楽しいひと時を過ごされました。



令和2年 新年交礼会（町連婦人会）

1月24日（金）グランドホテルニュー王子グランドホールにて、ご来賓及び町内会役員195名が出席され、開催されました。

町連婦人会八島会長の挨拶の後、ご来賓の市長・副議長よりご祝辞を賜り、社協会長のご祝杯のご発声で、開催されました。

余興として、カラオケで盛り上がり、抽選会では当たった方から歓声が上がるなど、参加者の方々は、笑顔いっぱい楽しい時間を過ごされていました。



令和元年度 研修講演会 【『地域福祉』の推進に関する講演会】

『いつまでも住み慣れた地域であなたらしく！』

9月26日（木）苫小牧市民会館小ホールにて、令和元年度町連婦人部会研修講演会を開催しました。

町内会役員、社協・市職員、一般市民、合計105名が参加しました。

今年度は、「地域福祉」を一つのテーマとし、認知症や高齢者への支援について見識を深めることで、各地域での、サロン活動や高齢者の見守り活動の、充実・推進を図る機会としてこの講演会を開催しました。

講師に、札幌市はもとより、全道各地で認知機能予防に関する【脳活塾】を開催するなど、幅広くご活躍されています、NPO法人シーズネット 生活支援担当部長の、柿沼英樹氏をお迎えし、『実践！脳を活性化して認知機能低下予防！』と題し、ご講演をいただきました。健康寿命を延ばすためには、脳の活性化が必須であり、脳を活性化させることで、生活にハリが出て、元気に過ごすことが出来るということで、脳を刺激するための簡単な体操、国語的・算数的な問題、グループワークによるコミュニケーションなど、実際に様々な脳トレプログラムを体験しました。

参加された方からは、「大変参考になる良い体験ができた。町内会のサロンで実践してみたい。」など、大変ご好評をいただきました。



令和元年度 会議開催状況報告

町連だより 46 号発行以降、下記の日程で会議を開催し、各事項について協議しました。

～理事会～

- | | |
|-------|--|
| 第 2 回 | 令和元年 9 月 10 日 (火) |
| 協議事項 | 市への町連要望について
令和元年度 視察研修事業
令和元年度 ブロック別町内会活動研究大会
令和元年度 研修講演会 (地域防災フォーラム) |
| 第 3 回 | 令和元年 11 月 22 日 (金) |
| 協議事項 | 令和元年度 市長懇談会及び町連要望 (案) |
| 第 4 回 | 令和元年 1 月 29 日 (水) |
| 協議事項 | 令和 2 年度 事業計画と予算概要 (案)
令和 2 年度 定期総会に向けて
町連ブロック会議について |

～組織運営特別委員会～

- | | |
|-------|----------------------|
| 第 2 回 | 令和元年 8 月 28 日 (火) |
| 所管案件 | 市長要望について
組織運営について |

～表彰審査特別委員会～

- | | |
|-------|--|
| 第 2 回 | 令和元年 9 月 29 日 (火) |
| 所管案件 | 令和元年度 町内会活動永年功績者表彰被表彰者決定について
令和元年度 市長感謝状の推薦について
令和 2 年 新年交礼会並びに表彰式について
表彰伝達方法について |

～事業運営特別委員会～

- | | |
|-------|--|
| 第 2 回 | 令和元年 12 月 11 日 (水) |
| 所管案件 | 令和元年度 事業報告と決算見込
令和 2 年度 事業計画と予算 (案) |

今後の会議予定

～令和 2 年度 町連 定期総会～

- | | |
|-----|------------------------------|
| 日 時 | 令和 2 年 5 月 15 日 (金) 13 : 30～ |
| 場 所 | 苫小牧市民会館 小ホール |

～令和 2 年度 町連婦人部会 定期総会～

- | | |
|-----|------------------------------|
| 日 時 | 令和 2 年 5 月 22 日 (金) 14 : 00～ |
| 場 所 | 苫小牧市民会館 小ホール |
-

【編集・発行】

苫小牧市町内会連合会

事務局

〒053-8722 苫小牧市旭町4丁目5番6号

苫小牧市 市民生活部 市民生活課内

TEL 0144-32-6609

FAX 0144-32-4322

<http://tomakomai-tyouren.jp/>



※ 上記 QR コード【町連ホームページ・トピックス】からも閲覧できます。